

令和6年度 第1回理事会 議事録

日時 令和6年 5月 1日（木）14:00

場所 天童ホテル（天童市）

出席

【旧役員】

理事：植木 哲也（○） 鈴木 貴志（○） 加藤 裕之（○） 矢田 耕一（○） 國井 徹（○）
佐藤 直仁（○） 佐藤 讓（委） 武田江身子（○） 伊藤 久美（○） 白田 美香（○）
田中 静佳（○） 阿部 宏美（委） 石塚 肇彦（○） 加藤 道代（委） 石井 敦（○）
金子 章江（○） 椎名 優恵（委） 小林 喬（委） 大森 洋子（委） 菅原 妙子（委）
渡部 由紀（委）

監事：小川 一弥（○） 菊地 功祐（○） 外山 士郎（○）

*下線のある方は次期役員継続

【新役員】

理事：菅野 真紀（○） 伊豆野良太（○） 阿部 智哉（○） 小笠原智子（○） 宇野 恵（○）
三部美穂子（○） 丸川 明穂（委） 高橋 留美（○） 斎藤 朋子（○） 奥山 馨（○）
荒生 聖子（委） 渡部 冬虹（委） 石塚 玲子（委） 高橋 佳代（委）

監事：伊藤千代子（○） 鈴木めぐみ（○）

議長 植木 哲也

書記 伊藤 久美 金子 章江

議事

本理事会は、旧理事21名のうち13名（新理事21名のうち16名）が出席であり、定款第33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

- ・4/27（土）日臨技第1回理事会、PMから宮島会長叙勲祝賀会
- ・6月22日（土）AM日臨技定期総会予定。PM第2回理事会開催予定。今総会は定款の改正もあることからより多くの議決権行使が必要になる。各施設で声掛けをしてください。山形県から植木日臨技理事のほかに鈴木副会長が議事録署名委員として出席予定。
- ・北日本支部医学検査学会は12月14.15日開催予定。担当は宮城県、仙台国際センターで行う。山形県から15題ほどお願いされている。

2. 各地区（村山/庄内・最上/置賜）

村山：県学会の準備を進めているところ。実施期間は演題数にもよるが1日の予定。教育講演講師選定は生理検査部門担当。開催日、開催場所決定次第速やかにお知らせする。（10/26（土）天童ホテルの予定であったが理事会後の打ち合わせにて一旦白紙、再検討となった）

庄内・最上：新役員選出中

置賜：6/1（土）定期総会（むつみ荘）。6/22（土）未定だが地区研修会開催予定（むつみ荘）。

3. 各部（庶務/会計/学術/企画）

庶務：6/1定期総会にむけて議案書作成中。山臨技の法人税について、山形市より免除の手続きが自動更新されていたが、法律上毎年申請必要とのことで申請手続きしている。

会計：各委員会などの残金、収支報告についてR4年度よりもスムーズな報告書作成となった。

学術：R5 年度活動報告は議案書にて。部門長改選があり、5/25（土）R6 年度部門長副部門長会議がビッグウイングで開催予定。

企画：11 月の検査と健康展の件について

4. 各委員会（生涯教育/精度管理・データ標準化/「山形医学検査」編集/ホームページ）

生涯教育：まだ研修会のお知らせなし。

精度管理：議案書どおり。令和 6 年度サーバイ締め切り 5/10。現在 58 施設から申し込みあり。
7 月中には解析評価予定。

医学検査：R5 年度は 3 部発行。R6 年度号に向けて事務所の東海林さんとともに現在名簿作成をしている。

ホームページ：年度はじめに求人募集案内した。

これまで HP は加藤副会長により維持、更新作業していただいたが、今年度予算をつけて（40 万円）更新、メンテナンスを専門業者に委託する予定。

5. その他

植木会長より、土日にかかる技師会会務の交通費は勤務地ではなく自宅から会場までとして算出支払い可能か？申し入れがあった。規定では勤務地または自宅からとなっているため、希望をすることとする。

○議題

1. 令和 6 年度の役員体制・役割分掌について

新理事出席者あいさつ

会長、副会長、庶務部長、精度管理委員長、企画部長、会計部長あいさつ

学術部長については現在選考中早急に決めていく（総会後石井理事に就任を打診し内諾を得た）。

2. 令和 6 年度活動方針及び予算案について

R6 年度事業計画案、予算案について（総会資料をもとに説明がなされ承認を受けた）

9/1 タスクシフト実技講習会について、5 月中旬に日臨技 HP にて申し込み開始予定（現在、基礎講習修了者 79 名）。また、5/18（土）宮城県が開催する講習会募集人員に達していないため北日本支部にも開放したがすでに満員となった。

3. R6 年度山臨技表彰者について

山臨技表彰規定にそって業務執行理事で選定（候補者リスト参照）した。特に異論もなく承認された。

4. 第 41 回定期総会について

定期総会の招待連絡を表彰者へ早めにしてほしい。庶務部一承知しました。

新役員への役割分担を速やかに連絡してほしい。引継ぎもあることから可及的速やかに選定させていただく。

5. その他

新役員選出は 2 月頃まで各施設から届けてもらうように出来ないか？（会長）役員推薦委員の業務となることから私から明言できないが早めに人選していただくようお願いしていきたい。

○連絡事項・その他

庶務部長より、新役員の方は全員、総会までにホームページに掲載の山臨技の定款・規程を一読しておくよう指示があった。（パスワード：yamarangi）

- ・次回理事会（令和 6 年度 第 2 回）：令和 6 年 7 月に予定している

令和6年度 第2回理事会 議事録

日時 令和6年 7月 29日（月） 17:30～19:00

場所 ZoomによるWeb会議

出席

理事 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 夢田 耕一 石井 敦 石塚 毅彦
菅野 真紀 伊豆野良太 阿部 智哉 小笠原智子 三部美穂子 丸川 明穂
高橋 瑠美 斎藤 朋子 荒生 聖子 渡部 冬虹 石塚 玲子 高橋 佳代
監事 伊藤千代子 鈴木めぐみ
議長 植木 哲也
書記 菅野 真紀 伊豆野良太

議事

本理事会は、理事21名のうち18名が出席であり、定款第33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

- ・7/27(土)に開催された日臨技第3回理事会に出席。横地会長が就任して新体制となった。技師会の参加意識の向上を問題点として挙げられていた。横地会長は今後、地方の理事会に参加することも望んでいる。
- ・北日本支部医学検査学会は 12/14(土)、15(日)に宮城県で開催予定。一般演題の演題募集が 8/21(水)まで延長となった。現時点で山形県からは3題申し込みがあった(山形県からは15題ほどお願いされているとのこと)。県学会も近いところではあるが、余力がある施設は演題申し込みをぜひお願いしたい。

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

村山：県学会に向けての活動をメインに行っている。

庄内・最上：第1回地区研修会を計画している。10/12(土)新庄病院で開催予定。

置賜：第1回地区研修会を計画している。第2回地区研修会は来年2月での開催を予定。

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：山臨技の登記申請は7/19(金)に完了した。國井前庶務部長との引継ぎはこれから行う予定。

会計：(金子理事欠席のため植木会長より)先日、井上会計士と打ち合わせを行い、前年度分の報酬をお支払いした。

《協議》今年度も継続して井上会計事務所へ依頼してもよいか。

→本理事会出席者賛成一致で承認された。

学術：部門研修会の予定について(7/26 血液(終了済)、9/14 病理、10/5 総合(Webのみ)、10/19 微生物)。微生物部門長より部門研修会をメーカー共催で実施したいとの依頼があつたが、こちらに関しては先日の業務執行理事会で回答済み。

(植木会長より)「精度管理委員長が空位であるが、精度管理委員の皆様で仕事を分担しつつ、各部門長や前精度管理委員長とも協力して進めていただきたい。また、生物化学分析部門の部門長が後任不在の状態である。北日本地区の部門委員には、後任が決まるまで前年

度部門長に引き続き依頼している。また状況が分かり次第報告していく。」

企画：（奥山理事欠席のため植木会長より）今年も検査と健康展を企画予定。庄内・最上地区が担当となり、11/16(土)にイオンモール三川にて開催予定で進めている。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：日臨技への申請が2件（7/26 血液セミナー、10/19 微生物研修会）あり、どちらも了承された。

精度管理：8/29(木)締め切りとして、各部門長に山臨技サーベイのデータ集計を依頼した。

精度管理報告会の日程と会場について、今年度は山形県立中央病院の講堂を会場とする予定。植木会長より会場を確保していただいた。第1候補は12/8(日)の8:30～17:00、第2候補は1/19(日)の8:30～17:00としている。

医学検査：第2号（会員名簿号）を現在作成中で、8/31発行予定。その後は第3号（抄録・精度管理報告合併号）を作成予定で、9/3入稿予定。

会員名簿のアンケートの回収率が低い状況であり、未提出の施設は早急に対応していただきたい。

『協議』第2号会員名簿号と第3号抄録集を大風印刷さんから直接発送してもよいか（1回につき10万円程度の出費となる）。

→県学会実行委員長である彦田地区長からも、印刷会社からの直送に関して肯定的な意見があった。

→本理事会出席者賛成一致で承認された。

ホームページ：今年度よりホームページの更新やメンテナンスを専門業者に委託するように進めている。現在、株式会社フロット、藤庄印刷株式会社の2社に見積もりを依頼している。

5. その他

特になし

○議題

1. 県学会の一般演題の進捗について

- ・7/18(木)に第2回実行委員会をオンラインで開催した。
- ・当日の学会運営委員の選出依頼を村山地区各施設に発送した。所属会員数に応じて人数を割り振って要請した。合計27名要請したが、20名程度は募りたい。8/31(土)期限で、連絡担当者宛に発送したので確認していただきたい。今回このようにした背景としては、部門長は学術賞などの選考委員会に専念していただきたいという理由から。
- ・リハーサルは10/16(水)に山形ビックウイングの大会議室で予定。
- ・教育公演は、本町矢吹クリニック院長 金谷 透 先生 に依頼した。
- ・ランチョンセミナーは現在1社から申し込みがあった。なお、継続して募集中である。
- ・学会抄録集は、9/3(火)入稿、10/18(金)発刊予定。
- ・支出見積もりは約170万円。収入見積もりは今年度の山臨技の予算としては、県学会費で120万円が計上されており、加えて参加費の約20万円と広告費の約20万円、合わせて約160万円となる見込みである。
- ・一般演題の申し込みは現在0件。各施設の発表予定者がいたら積極的に登録していただきたい。迷っている方がいたら背中を押していただきたい。演題申し込み締切日は8/21(水)で、延長はない方針で進めていく。15ないし20演題数を目指していきたい。（8/13現在 2件）

2. 各部各委員会の引継ぎ状況について

・(植木会長より) 先述した通り、生物化学分析部門の部門長が不在の状況である。今後部門研修会やサーベイの報告などが問題点となるが、まずは部門長不在でも部門員が協力し合って進めていただきたい。部門長の任期中に後任を決めてもらうという今までのスタンスが一番良いのだが、その他の案として、施設を順番ごとに割り振って決めていく方法や、人数の多い大規模の施設で担当してもらう方法もあるが、このやり方を今すぐ適応していくことは難しいと思われる。本日の会議では一つの結論を出すことは出来ないため、この課題については継続審議していく必要がある。

- ・『協議』今回の山臨技フォトサーベイに関して、回答が割れた設問があるので、判定B(許容正解)を使ってもよいか(生理検査部門と一般検査部門)。
 - 選択肢として許容正解を用いることもよいのではないかとの意見があった。一方で、日臨技WG 経験者が以前話していたことでは、正解率が8割に満たない問題は取り下げるべき(評価対象外とする)との意見があった。また、北日本支部部門有識者の意見を聴取してはどうかという意見もあった。
 - これらの意見を踏まえたうえで、理事会としては、「判定B(許容正解)については承認するものの、改めて回答が割れてしまった原因を含め、部門内で再検討をおこなっていただきたい。その上で最終的な評価をお願いしたい。」との結論となった。

3. その他

- ・石塚庶務部長より、次の山形医学検査に掲載する事務局からのお知らせの文言変更の議題と決定事項の件について報告があった。
 - 『協議』山形医学検査に掲載されている「事務局から」のページの文言を変更してもよいか。(「退会届(日臨技のみ退会)」や「県技師会のみ入会する場合」などの箇所を削除したい。)
 - 本理事会出席者賛成一致で承認された。
 - また先日の業務執行理事会で協議した結果、技師会入会と退会については日臨技・山臨技をセットとすることで承認を得た。よって、今後は、山臨技のみ入会・日臨技のみの退会は受け付けないこととし、現役世代で山臨技のみの会員には山臨技会長名義で日臨技への入会を促す方向で周知していく。一方、シニア雇用などで現在、山臨技に入会している会員は日臨技への入会や山臨技への退会を促すようなことはせず、日臨技からシニア会員への対応の動きが今後出てきた場合には別途、周知することとする。

○連絡事項・その他

- ・先日の山形県内の豪雨災害に関して。被害の確認ができる証明書が必要とはなるが、共済制度等もあるので、理事の皆様のみならず他の施設で被害に遭われた方などの情報があれば随時庶務部長または植木会長に教えていただきたいとのこと。災害のお見舞い金制度や規程等に関しては、事務局から各会員にメールを配信してお知らせするように進めていく。

・次回理事会(令和6年度 第3回)

令和6年9月～10月に予定。(現地開催かオンライン開催かは未定)

令和 6 年度 第 3 回理事会 議事録

日時 令和 6 年 11 月 26 日 (火) 17 : 30 ~ 18 : 40

場所 Z o o m による We b 会議

出席

理事 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 夢田 耕一 石井 敦 石塚 毅彦
菅野 真紀 伊豆野良太 小笠原智子 宇野 恵 高橋 瑠美 金子 章江
丸川 明穂 斎藤 朋子 奥山 馨 渡部 冬虹 石塚 玲子 高橋 佳代
荒生 聖子

監事 菊池 功祐 鈴木めぐみ

議長 植木 哲也

書記 宇野 恵 小笠原智子

欠席 (委任) 阿部 智哉 三部美穂子 伊藤千代子

議事

本理事会は、理事 21 名のうち 19 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

- ・11/16(土) 日臨技第 5 回理事会に出席。全国学会が来年 5/10(土)~11(日)に鳥取県で開催予定。
一般演題の演題募集が 12/2(月)まで延長となった。目標 500 題のところ、現時点で 150 題の申込みあり。令和 8 年度は、青森県が担当で IFBLS 国際学会と合同開催となり 9/26(土)~27(日)幕張メッセで開催予定。
- ・日臨技事業として、ニューリーダーの育成講習会の後継として次世代人材育成プロジェクト WG が立ち上がった。目的は未来リーダー（人材）育成を目的としている。
- ・日本臨床検査振興協議会から検査実施コストの実施調査等の協力依頼があります。山形県内の定点施設へ依頼します。FDP、リコール、クロストリジウム・ディフィシルの 3 項目です。診療報酬改定に活かされますので協力願います。
- ・1/24 日臨技の賀詞交換会、1/25 第 6 回理事会が東京都市センターホテルで開催、植木会長出席予定。
- ・北日本支部報告 12/13 (金) 北日本支部連絡会議 (仙台市) 植木会長と支部学術部門長 (鈴木俊市氏) 出席。
- ・12/14(土)、15(日) 北日本支部医学検査学会は宮城県仙台市国際センターで開催。
R 7 年度は新潟県、(11/15 (土)、16 (日) 朱鷺メッセ新潟にて)

令和 9 年度は本来青森県が担当であるが、前年に全国学会 (国際学会とジョイント) を主担当で幕張メッセで開催することから山形県担当がほぼ決定、前年度 (R8 年) の秋田県担当の北日本医学検査学会には山臨技準備委員会を組織して見学に行く予定。

2. 各地区 (村山／庄内・最上／置賜)

村山：県学会の中間報告を後で行う。

庄内・最上：第 1 回庄内・最上地区の研修会を 10/12 (日) に新庄病院を会場とし開催。

内容はレントゲン・C T ・M R I の読み方と新庄病院の見学会。

第2回の研修会は2月予定。

置賜：研修会を来年2月に実施予定。

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務部：学術部の委嘱状について

山形県職員において理事会等で日当（報酬とみなす）が生じる際、その都度（毎回）営利企業等従事許可申請書の提出が必要となった。

これまで各理事に対し、委嘱状を提出していたが、今後は部門長・部門員に対しても委嘱状がほしいとの要望があり、理事会で委嘱状の送付について承認された。R6年4月1日からの日付で、学術部役員全員に一律で委嘱状の郵送を行う。

- 精度管理報告会が12月8日（日）山形県立中央病院講堂で開催されるが、セキュリティの関係で出入り口がロックされることから、庶務部長と会長で対応協議。

学術部：部門研修会の報告

- 9/14 病理部門研修会 32名参加
- 10/5 総合部門研修会 39名参加
- 10/19 微生物部門研修会 40名参加
- 11/16 血液部門研修会 参加人数不明
- 11/23 輸血部門研修会
- 12/14・15 北日本学会へ当会より座長6名を選出。
- 2/1 血液部門研修会予定。
- 2/15 一般検査部門研修会、染色体・遺伝子検査部門研修会予定。

企画：「検査と健康展」を11/16（土）イオンモール三川1F通路にて10時～15時で開催した。

実務委員24名参加。宣伝としてチラシ作成、県教育局に相談し小中学校へチラシの配布。東北、新潟の臨床検査技師養成学校のパンフレットも配布。

顕微鏡、骨密度（約100名測定）、物忘れ診断、貧血検査、血管年齢、生理検査ブースなど、どのコーナーも大盛況で、来場者は途切れることなく200名程度であった。

実務委員も来場者も楽しめた検査展になった。実務委員、来場者からのアンケート結果を参考に、次年度に向けてより良い検査展が開催できるよう企画担当で検討していく。

来年度は村山地区のイオンモール南山形にて開催予定。県学会の日程決まり次第始動する。（植木会長より）日臨技でも「検査と健康展」の在り方について議論されているが、山形県では一般の方と触れ合う機会でもあるため臨床検査技師の知名度アップと後進育成のため引き続き開催していく。

会計：入金状況報告

7月 定期総会 議決権行使における回収費 44200円

検査と健康展 開催助成金 50万円

県学会 ランチョンセミナー広告費 5万円（栄研化学・アボットジャパン）

県学会 企業PR費 1万円（デンカ・Canon・BML）

その他の企業については学会事務局で確認中

生涯教育推進研修会助成金

8月 血液検査セミナー

10月 病理・細胞部門研修会 の助成金は入金を確認。

11/28 臨床検査総合部門研修会/臨床微生物研修会の助成金は入金予定。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：学術・企画・県学会における生涯教育の申請は順調に行われている。

今後の学術部門から要項の届いている研修会においては申請を行っている。

精度管理・データ標準化：精度管理報告会 168名参加申し込みあり。

12/8（日）県立中央病院 2F講堂にて 9:50～15:50

12:00～医学検査学会表彰式

昼食申し込み 102名

ホームページ：HPのリニューアルに費用 100万円（リニューアル準備期間は約9か月）

維持費 年間 40万円

賛成多数により決定。

編集委員会：8月と10月に2部発行。

次号は来年2月28日発行予定。原稿依頼に協力願います。

（植木会長より）北日本支部医学検査学会の抄録集が事務所に届いており、石塚庶務部長と東海林事務局で8割送付完了、残りも速やかに送付予定。

5. その他

県学会の中間報告

・時間に余裕をもって抄録の配付・HPの掲載を行うことが出来た。

しかし、スマホから山臨技のHPを見ても抄録を探せなかった。後日、詳細を再確認。

・当日参加人数 計250名。（一般会員・賛助会員）

・大きなトラブルなし。雨にもかかわらず、外にあつたシステムズの企業ブースにも来場者が多く、スタンプラリーは大盛況であった。

企業の説明をきちんと聞いたかは不明。

・運営委員（村山地区）のバランスも良く、実行委員がいなくても、休憩、設置等、話し合いながら順調に行われたと思われる。

・県学会のアンケートを実施中。締め切りは11月29日。

アンケートの結果をもとに、総括会議を2025年2月1日（土）に開催予定。

・教育講演も時間、内容ともに充実したものであった。

・県学会中間決算

収入

技師会より準備金 150万円

ランチョンセミナー参加費（4社×5万円） 20万円

企業PR参加費（7社×1万円） 7万円

一般参加費（198名×1000円） 約20万円

（非会員1名2000円支払いもあり）

賛助会員参加費

約 3 万円

合計で約 200 万円の収入

支出

会場費（ビックウイング）	約 22 万円
実行委員会費（リハーサル含む計 5 回）	約 20 万円
スタンプラリー景品代	約 8 万円
お弁当代	約 45 万円
学会当日の日当・交通費	約 26 万円
教育講演の謝礼	6 万円

合計で約 130 万円の支出

残金 70 万円。総括会議後、決算をまとめて会計に戻す。

○議題

1. 学会学術賞および若人奨励賞の選考について

全 17 演題から 21 名の選考委員により推薦をいただき、規定に基づき
最多ポイント数の演題・32 歳以下で最多ポイント数の演題を選出した。
さらにポイント数の高い演題を学術部長推薦とし 2 題を選出。

合計 4 題を最終選考に選出。（事前資料あり）

→賛成多数により選出された 4 題を最終選考に進め、12 月 8 日に表彰。

2. その他

・災害協定

群馬県・徳島県・宮城県・山梨県・広島県で協定締結終了。他 30 都道府県は調整中。もしくは年内に調整に入る予定。

山臨技と山形県の間に災害協定を結ぶ方向で、このまま進めてよいか？

→理事賛成多数によりこのまま協議を進める。

山形県との協定成立後、要請があれば山臨技からの災害対策チームを派遣。

急性期よりも慢性期に避難所での下肢静脈エコーや、感染症（コロナ、インフルエンザ、ノロなど）予防のための検査等を想定中。

他県の動きを参考に、保障の話を含め進める。今後、理事会等で報告の予定。

・R7 年 元旦の山形新聞に山臨技の広告を掲載

1 枠 74mm × 83.5mm 6 万円の枠に広告掲載。

→理事賛成多数により掲載を承認。

・被災時のお見舞い金について

酒田豪雨における被災により、技師会費免除の申請が荘内健康管理センター職員の方よりあった。罹災証明書確認済み。

山形県臨床検査技師会の規定に基づき、被災時の次年度の技師会費の免除、お見舞金をお支払いする方向でよいか協議。

→理事賛成多数により承認された。

- ・精度管理委員長不在なので、来年度は精度管理委員会に所属する現理事 3 名の中から選出をお願いしたい。また、生化学部門長も不在なので会員人数の多い施設での輪番制を会長名でお願いする予定。

○連絡事項・その他

- ・タスクシフト

座学の終了者数が約 40 人台、9 月から 1 名の増加のみ。受講中から増えない。
70 名以上の終了者がいないと、開催は難しい状況。年度内の開催は無理。

受講率向上を目指す。

- ・北日本学会に出席する座長に対しての山臨技からの補助について

業務執行理事で話し合い、今後他県なども参考に協議する。

- ・会計は年度末に集中しないように早めに提出のこと。

- ・次回理事会（令和 6 年度 第 4 回）

年明け、Web 開催の予定

令和6年度 第4回理事会 議事録

日時 令和7年 3月 27日（木） 17:30～19:15

場所 ZoomによるWeb会議

出席

理事 植木 哲也 鈴木 貴志 多田 耕一 石井 敦 石塚 毅彦 小笠原智子 宇野 晃
高橋 瑠美 金子 章江 丸川 明穂 斎藤 朋子 奥山 馨 三部美穂子 渡部 冬虹
石塚 玲子

監事 菊池 功祐 伊藤千代子 鈴木めぐみ

議長 植木 哲也

書記 三部美穂子 高橋 瑠美

欠席（委任） 加藤 裕之 阿部 智哉 菅野 真紀 伊豆野良太 高橋 佳代 荒生 聖子

議事

本理事会は、理事21名のうち15名が出席であり、定款第33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

・3/22(土)日臨技第6回理事会に出席。令和7年度の予算案を承認した。予算編成の目玉として現在紙媒体で発行している医学検査とJAMTマガジンを2026年1月からデジタルブックに様式変更する。紙代、印刷代、郵送代の高騰対策として行い、年間9000万円の利益を見込んでいる。同様に予算削減について、理事会の会議の形態を変更する予定。具体的に年7回の理事会のうち2回をWeb、3回を日臨技会館、・・・旅費、交通費、会場費を圧縮する予算だてを行う。生涯教育の見直し、eラーニングの見直しに着手するためのWGを立ち上げた。

またJAMTアプリを開発中であり、具体的に会員証のデジタル化、安否確認のプッシュアウト型を使用可能にする。詳細については6月の定期総会ではかり、承認を得る予定。

・技師連盟の報告 7月の参院選選挙に中田さん（前横浜市長）、アゼモトさん（放射線技師会）の2名を日臨技として支援することが決定した。また活動として連盟の加入率のアップを目指し、現在の1400口から7000口まで増やしていきたい。組織内議員として4年後の参院選に現職の臨床検査技師の中から参院選出馬を目指すため、働きかけをしている。

・北日本支部報告 2/22（土）北日本支部幹事会（仙台市）に出席。第12回の北日本支部医学検査学会の一般演題の中から学会学術賞、若人奨励賞を採択した。開催地の確認を行い、2025年11月15、16日新潟県担当、会場が朱鷺メッセ新潟、メインテーマ「基～強く、そしてしなやかに～」となっている。2026年は秋田県担当、2027年山形県担当になった。2026年の秋田開催時に実行委員会を組織し、下見に入る予定。

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

村山：表彰対象者の選考を各施設にお願いしている。現在、済生病院から2名の推薦をいただいている。

庄内・最上：功労賞2名選出。2/15地区研修会を開催。次回6/14地区研修会を第一ホテル鶴岡で開催予定。

置賜：2/22 今年度初めての置賜地区研修会を開催し、無事終了した。

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務部：公益法人等に対する法人市民税の手続きについて

技師会は収益事業を行っていないので、減免申請・法人市民税の申告・均等割額の納付が不要となる。7年度以降は手続きいらない。代表者や所在地等の異動があった場合は、「法人設立・異動等申告書」の提出が必要になる。

会計部：入金状況報告

昨年12月で会員642名の会費の入金を確認した。賛助会員については、一社分未納。再度、案内文を送り入金していただく予定。

山臨技のみの会員については、9名中1名入金済み。8名の方は今年度退会の可能性もあり、事務所に未処理の届け出ある可能性もあるので、事務所の東海林さんに確認する。

学術部：部門研修会の報告

2/1 血液部門研修会 19名参加

2/15 一般検査部門研修会 31名参加

染色体・遺伝子検査部門研修会 24名参加

生理検査部門研修会 75名参加

5/24 令和7年度 部門長分野長合同会議予定。

企画部：検査と健康展について

協賛金を3団体に振り込んだ。

① 山形県臨床細胞学会→使途は不明。

② 山形県公衆衛生学会→公衆衛生学会のチラシに協賛団体として載せてもらった。

③ 子宮頸がんを考える市民の会→市民の会のHPに引き続き当会のHPへのリンクを貼ってもらった。

① については連絡をとり速やかに対応できたが、②、③については連絡きてから対応するように前任者から申し送りがあったため、振込が遅くなってしまった。次年度はこちらから連絡をとり早めに対応したい。

会場費について

令和6年度会計報告済み 支出 623, 540円 (会場費 220, 000円)

前年度 令和5年度 支出 257, 969円 △365, 571円 (会場費 0円)

前々年度 令和4年度 支出 389, 098円 △234, 442円 (会場費 5, 000円)

例年、全国「検査と健康展」は日臨技から500,000円の助成金をいただいているが、すべて使用したと報告を返している。今年度は会場費の支出が多かったので来年度はもう少し抑えて、他のやり方を検討したい。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：学術の方から報告があった研修会について、生涯教育の申請は完了している。

庄内・最上地区的研修会、置賜地区研修会、精度管理報告会の161名の生涯教育登録も完了している。

精度管理・データ標準化：来年度委員長に山大菅野理事の承諾得られた。

編集委員会：2/28 今年度最終号を発行した。今回、論文の投稿があり掲載するにあたり共同発表者に医師が含まれていた。投稿規定により入会資格を有しない共同発表者については理事会で決定することから、業務執行理事会において承認された。2月発行の最新号に掲載された。

来年度も、印刷業者は大風印刷でよいか。コスト面でも事務所からの発送より安価。事務員の負担や発送までの期間など考えても、大風印刷にお願いするのが良いと思う。今後も大風印刷にお願いしたいので、理事会で承認していただきたい。賛成多数により決定。

ホームページ：HPリニューアルに向けて業者選考中。来年度から管理をお願いする予定。

5. その他

- ・令和6年度 第2回村山AMR（薬剤耐性）等対策ネットワーク会議に微生物部門長の鈴木裕部門長に出席していただいた。議事録いただき参加した旨、報告あった。
- ・第52回定期総会議案書の作成を担当理事の方にメールでお願いしている。期限は4/7まで。誠文堂印刷にお願いしたいと思っている。その場合、議案書を封筒に入れて郵送することになる。誠文堂印刷に発送もお願いすることはできないのか？庶務部長と事務の東海林さんとで協力してできれば可能。

○議題

1. 生物化学分析部門の部門長輪番制に移行する案について

山形県の9病院から1名ずつ分野員選出をお願いした。概ね、了承得たが来年度担当病院が難航示している状況。対策案としては、①来年度一年間は前分野員4名を中心に協力して行う方向で考えている。負担軽減のため、グリコHbは中止とする。②9名の分野員に集まって頂き、回り順を公正に決めていただく。

来年度、多田地区長を中心に次世代人材育成プロジェクトWGの立ち上げを検討している。

2. 精度管理委員会委員長互選の件完了。

菅野理事が委員長就任で了承。

3. 役員推薦委員が改選時期の件

令和7年度総会時に改選、現委員の武田和子さんが退職により、後に河北病院金子技師長にお願いした。さらに寒河江市立病院の安孫子浩さんも退職にするため、後任を打診中。

4. 総会に向けて功労賞、奨励賞候補者の拾い上げ

5. コピー機のリース契約更新について

メコムによるリース継続で承認された。

6. 研修会等に関して、会費の事前支払いができる仕組みを構築できないか

（他県において、【イベントPay】を採用しているところがある）

現金管理の省略を目的としている。1契約1口座必要。契約に関して承認得た。

学術部で一括管理がしたい。→承認得た

7. 部門で使う講座を開設できないか

イベントPayを進めてから検討する

8. PHCホールディングスより精度管理事業への参加希望→承認された

9. 業者による精度管理報告会への参加希望→承認された

10.令和7年度AMR対策会議出席報告（微生物部門長）について

11.公益法人等に対する法人市民税の手続きについて

12.その他

- ・庶務担当の加藤地区長を中心に適正な予算建てを行うWGの立ち上げ
- ・企画担当の鈴木地区長を中心としたタスク・シェア研修会、連絡ツール、災害協定などのWGの立ち上げ

・山臨技LINE公式アカウント開設の提案

メリット・・・情報発信を会員個々人に直接できる

(研修会、行事のお知らせ、学会の演題募集、検査と健康展の実務委員募集など)

デメリット・・・管理する人が必要になる（ホームページ委員か？）

フォローしていない人にはメッセージは届かない。

0円プランもあるが、料金が発生するプランもある。

・災害協定について

10都道府県で災害協定締結が終了している。山形県でも協定締結に向けた連絡を担当部署である山形県健康福祉部に連絡した。

○連絡事項・その他

・9/7（日）タスクシフト・シェア研修会 なるべく多くの方に参加していただきたい。

実技受講可能者53名。50名に達しないと中止になる。

・次回理事会（令和7年度 第1回）

令和7年度4月